

江戸切子

暮らしの器として庶民の中で愛されてきた江戸切子。江戸切子とは、江戸時代の後期より現代まで受け継がれてきた伝統工芸の一つで透明な硝子に色硝子を薄く被せたものに砥石等を用いてカットを施した硝子器の事です。

本製品は竹籠の八角形の編み目に由来し、縁起の良い「笹葉」をモチーフにした文様の中に切子師の培われた指先の技術で、ミッキーマウスのシルエットが彫り込まれた新しい感覚の硝子工芸品となっております。

※本製品は伝統工芸士によりひとつひとつ丁寧に作り上げておりますが、手作りの為、色の濃淡、硝子の厚みやカット模様など多少異なり、硝子内部に気泡などが入っている場合がございます。



NEW
江戸切子 籠目(赤)
R-311 ¥25,000 47311 0
最大76 口76 高90 容280
箱サイズ:長114×幅92×高92
1×24=24p/c入



NEW
江戸切子 籠目(瑠璃)
R-312 ¥25,000 47312 7
最大76 口76 高90 容280
箱サイズ:長114×幅92×高92
1×24=24p/c入



NEW
江戸切子 籠目(黒)
R-313 ¥30,000 47313 4
最大76 口76 高90 容280
箱サイズ:長114×幅92×高92
1×24=24p/c入



木箱入り



江戸切子(銅赤)
※**R-334** ¥18,500 37334 2
最大76 口76 高90 容280
箱サイズ:長114×幅92×高92
1×24=24p/c入



江戸切子(瑠璃)
※**R-335** ¥18,500 37335 9
最大76 口76 高90 容280
箱サイズ:長114×幅92×高92
1×24=24p/c入



木箱入り

© Disney



コカ・コーラ

コカ・コーラは、1886年、薬剤師のジョン・S・ペンバートン博士により、米国ジョージア州アトランタで誕生しました。

以降130年以上にわたり、国境や文化を超えて世界中の人に愛されており、その規模は200以上の国や地域に及びます。

「コカ・コーラ」という名前は、発売当時経理を担当していたロビンソン氏が、リズムカルで覚えやすい名前がいいと考えてつけたものです。

6433・6434・6435の
パッケージ



カンガタグラス クリア
B-5468 ¥380 45468 3
最大69 口60 高122
容355
6×8=48p/c入
JAN



ジェヌイングラス クリア
B-5469 ¥380 45469 0
最大78 口76 高144
容370
6×8=48p/c入
JAN



ジェヌイングラス
BC-385 ¥380 43385 5
最大78 口76 高144
容370
6×8=48p/c入
JAN



レガシーA
6433 ¥500 06433 2
最大70 口70 高121
容305
箱サイズ:長72×幅72
×高123
1×36=36p/c入
JAN



レガシーB
6434 ¥500 06434 9
最大70 口70 高121
容305
箱サイズ:長72×幅72
×高123
1×36=36p/c入
JAN



レガシーC
6435 ¥500 06435 6
最大70 口70 高121
容305
箱サイズ:長72×幅72
×高123
1×36=36p/c入
JAN

© 2016 COCA-COLA.